

金沢そだちのなし産地を守るためにご理解とご協力をお願いします

なしを赤星病から守りましょう!

なし

感染
4~5月



被害を受ける
5~6月



赤星病に感染した葉と果実

※写真出典：島根県農業技術センター

なし赤星病菌は
約1.5km飛散します

びゃくしん類

越冬



感染
5~6月

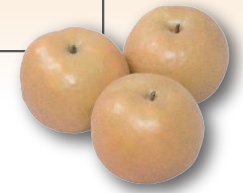


かいづかいぶき

金沢市の**なし**は「金沢そだち」に認証されています!

「金沢そだち」

金沢の風土を活かして生産された、優れた品質や豊富な生産量を誇る農産物を「金沢そだち」として認証しています。



『赤星病』とは

赤星病とは、なしの葉や果実に赤い斑点が生じる病害です。赤星病にかかると、葉は早期に落ち、果実は販売できなくなります。

赤星病菌はなしとびゃくしん類で生存し、4月~5月にびゃくしん類からなしに感染し多大な被害を与えます。その後、5月~6月にびゃくしん類の若い葉に感染し、翌年の発生源となります。

「びゃくしん類」とは

- | | | |
|----------|-------------|----------------------|
| ・かいづかいぶき | ・たまいぶき | ・はいびゃくしん (そなれ) |
| ・くろいぶき | ・たちびゃくしん | ・みやまびゃくしん (しんぱく) |
| ・スカイロケット | ・ねず (ねずみさし) | ・はいねず (おおしまねず、みやまねず) |

皆様へのお願い

このようなことから、金沢市では、なし赤星病の発生を防止するため、金沢市なし栽培環境保全対策要綱に基づく保全地区を指定しております。

保全地区内のご家庭等で植木等を植栽する際には、びゃくしん類を植栽しないようご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 金沢市農業センター (249-2744)
J A 金 沢 市 (237-3945)
J A 金 沢 中 央 (266-5003)



保全地区の詳細は、裏面またはこちらの二次元コードからご確認ください。

金沢市なし栽培環境保全対策要綱に基づく保全地区図

